

あ と が き

「はじめに」でも記しましたが、この「患者必携 地域の療養情報」『おきなわがんサポートハンドブック第2版』(以下ハンドブック)は、国立がん研究センターがん対策情報センターが編集した「患者必携 がんになったら手にとるガイド」および「患者必携 わたしの療養手帳」と共に使っていただくことを前提に編集しています。そのため、「ガイド」の参照ページを記載して、この3冊が有機的に使用できるように編集しました。

今回の第2版も第1版に引き続き沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会と琉球大学医学部附属病院がんセンターが中心となって作成しました。さらに、沖縄県がん患者会連合会(がん患者さんとそのご家族・ご遺族)に貴重なご助言を頂きました。また、厚生労働科学研究費補助金第3次対がん総合戦略研究事業「患者・家族・国民の視点に立った自立支援型がん情報の普及のあり方に関する研究」および、がん臨床研究事業「地域におけるがん対策の推進と患者支援に資する介入モデルの作成に関する研究」研究代表者の渡邊清高先生(国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供研究部医療情報コンテンツ研究室室長)を始め、両研究班の先生方にもご助言を頂きました。この場をお借りして、関係各位に厚くお礼を申し上げます。

「患者必携 地域の療養情報」はこのハンドブック(=沖縄県版)が嚆矢となりました。私たちはこのハンドブックを、日本で最もがん患者さんに有効活用される情報誌にしたいと考えています。それには、この本を実際に手にとって利用して下さっている皆様のご協力なしでは実現できるものではありません。是非、忌憚のないご意見を頂きたいと希望します。巻末のとじ込みはがきのアンケートにお答えいただくとともに、さらに直接ご意見を私たちに頂ければ幸いです。

このハンドブックを県民の皆さんとご一緒に育てていきたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会
琉球大学医学部附属病院がんセンター
増田 昌人